

令和5年度 中津川小学校グランドデザイン

霧島市立中津川小学校

日本国憲法 教育基本法 学習指導要領 鹿児島県教育振興基本計画 霧島市教育振興基本計画

霧島市基本目標 夢を描き 高い志をもって学び続け、共に輝く未来を創る 心豊かな人づくり

- 【課題】**
- あいさつ、返事
 - 整理整頓
 - 自ら考え行動する
 - 学力の底上げ
 - 児童の確保

学校教育目標
生きる力を身に付け 未来を切り拓く
中津川の子供を育てる

- 【保護者の願い】**
- 人に感謝できる
 - 思いやりがある
 - 友達を大切にする
 - あいさつや返事ができる
 - 個性がある
 - 人に迷惑をかけない

キャッチフレーズ
挨拶があふれ 夢にあふれ 笑顔あふれる学校

- めざす学校像**
- 教科等指導、生徒指導、学級経営など、全教育活動を通じて、人権尊重の精神に立った学校
 - 安心・安全な学校
 - 保護者や地域の声に応える学校
 - 開かれた学校
 - ・ 社会に開かれた教育課程
 - ・ 家庭・地域の素材・人材を生かす学校
 - ・ 学校評価の活用
 - 特色ある学校
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（個別最適な学び、協働的な学び）
 - ・ 過小規模、複式学級の強みを生かした教育活動

- めざす教師像**
- 人権尊重の理念を正しく理解し、自らの人権意識の高揚を図る教師
 - あたたかく、使命感にあふれ、信頼・尊敬される教師（人間性、職責感と覚悟）
 - いつまでも学び続ける教師（授業力の創造）
 - 児童を認め・褒め・励まし、伸ばすことができる教師
 - 教育公務員としてのサービスを自覚し、服務に厳正な教師（教育公務員としての自覚）
 - かごしま県教職員等育成指標に基づく資質を兼ね備えた教師

めざす子供像

なかよく	かしこく	たくましく
心豊かで思いやりのある子	自ら課題を見つけ、学び、考えることができる子	気力、体力に富み粘り強い子
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 ○相手のことを考えた行動ができる。 ○相手の意見や考えを聞くことができる。 ○ルールや約束を守ることができる。 ○自分や相手を考え整理整頓ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な内容を身につける。 ○主体的に学ぶことができる。 ○課題を明らかにし、目標や見通しを立てて考えることができる。 ○解決に必要な情報を収集・分析・整理し、確実に行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで運動に取り組むことができる。 ○健康や安全について考え行動できる。 ○相手を意識して元気よくあいさつができる。 ○苦手なことにも粘り強く努力できる。

子供が学習に集中できる環境づくりと「分かった」「できた」を実感する授業	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の学力の定着→教科書の練習問題・ドリルの繰り返しと解説 ○学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力の育成 →教科書・過去問・WEB問題の繰り返しと解説 →新聞への投稿（若い目・子供のうた）、天声こども語の活用（要約、要旨の練習） ○複式指導の充実（ガイド・フォロワーの育成）→ガイド学習の手引きの活用と学期毎の振り返り ○学習指導法の改善・充実→複式指導でICTを使った効果的な授業の試行・改善 ○授業でのICTの活用→navima、ロイロ等 ○低中高での情報活用能力の育成 ○望ましい学習習慣の育成→家庭連動型の宅習の実施
子供に「夢・志」をもたせる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の充実→キャリアパスポートの有効活用 毎学期ごとの振り返り ○生徒指導の充実→全校体制でのあいさつ指導・ほめる指導 ○心の教育の充実 →考え議論する道徳教育の充実（命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付ける） →学校いじめ防止基本方針に基づく指導の徹底（月1回以上のアンケート実施） ○安全教育・健康教育の充実 →校区通学路・校内の点検（毎月）、危険箇所マップの見直し KYTの育成（写真等の活用） 学校の感染症対策の実施と感染症以前の生活スタイルへの改善・変更 ○教科体育指導の充実→かごしま国体との関連を考慮する。 →体力運動能力調査結果を生かした授業、チャレンジかごしまへの取組（月1報告） ○魅力ある学校づくりの推進（年3回アンケートの実施）→見直し・改善
特色ある開かれた学校づくりと教育環境整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○特色を生かした郷土教育、地域との交流、集合学習、ボランティア活動 →体験だけで終わらない授業（発表、まとめる、作文、絵、ICTの活用 など） ○特別支援教育の充実（個別の支援・指導計画の作成、ユニバーサルデザインの共通理解、特別支援教育推進委員会の実施） ○家庭・地域との連携（PTA活動の工夫・改善、地域行事への協力・参加、基本的な生活習慣） ○学校評価・説明責任（学校評議員会・信頼される学校づくり委員会、HPの充実） →PDCAサイクルでの見直し・改善 ○特認校制度、山村留学の推進及びPR活動 →ポスター作成、配布 HPの作成 ○教育環境・校舎内の整備（花いっぱいコンクール、花管理）
教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の充実（学校研究テーマ、個人テーマ、地区教育論文の応募、個人ファイルの作成） →複式学級における複式指導及びICTの活用（毎学期ごとの見直し、情報交換） →地区研究指定校としての研究（R5・R6） ○業務改善と校務分掌の機能化（業務改善アクションプランの確認、業務改善が実感できた職員80%以上）→放課後の見直し、フォルダ作成、複式時間割の活用 ○かごしま県教育等育成指標及び県教員等研修計画の活用 ○服務規律の厳正確保（法令遵守）→県通知文、県の服務指導資料の活用（毎月） ○安全衛生委員会の充実（毎月）